

作成日：2015/10/08、作成者：佐野

生活工学共同専攻環境系イベント 環境系研究室合同ゼミ 報告書

## 1. 概要

〔日時〕 2015年9月30日（水）10:00～ 〔場所〕 総合研究棟 702室

〔プログラム〕 午前：開会式、自己紹介、発表・ディスカッション

午後：発表・ディスカッション、ラボツアー、懇親会

〔参加者〕 本学：大瀧雅寛教授、中久保豊彦助教、博士 1名、修士 3名、学部 7名

一橋大：大瀧友里奈准教授、修士 1名、学部 5名

## 2. 趣旨

環境工学や環境評価学という分野は、工学の中でも問題解決型もしくは最善策提案型の分野であり、その研究成果が実社会において通用するかどうかは、理系・文系といったバックボーンに関わらずその成果を如何に聞き手に説明でき、さらに実のある議論ができるかに大きく依存していると言える。本ゼミでは、文系のバックグラウンドを持つ一橋大学社会学部の環境関連分野研究室と合同で、相互に研究成果の発表およびディスカッションを行う。本ゼミを通し、異分野コミュニケーションの難しさや重要性を実感してもらいたいと考えている。



写真 1. 開会式



写真 2. 本学学生による発表



写真 3. 懇親会

## 3. 所感

文系理系という枠組みを超え、異なる価値観を持った人間がある議題について考えを巡らせることで生まれる成果の大きさを感じた。また、専門分野外の人間への「伝え方」を模索していく中で、自身の研究について個々が振り返る機会にもなったと思う。さらに、学部生にとっては初めての発表の場となり、今後の卒論発表向け課題を見つけることが出来た。今後研究を進める上での里程碑となる非常に有意義なイベントであった。

#### 4. 発表題目

- ① 「群馬県のごみ処理施設更新におけるエネルギー評価」 (お茶大)
- ② 「大都市における下水処理場とごみ焼却場の連携」 (お茶大)
- ③ 「大腸菌の殺菌実験方法の分析」 (お茶大)
- ④ 「水ビジネスの国際展開と水インフラ途上国援助」 (一橋大)
- ⑤ 「スーパー堤防は必要か」 (一橋大)
- ⑥ 「競合する持続可能性の概念: コンセンサスの食い違いに関して」 (一橋大)
- ⑦ 「UV 消毒と光回復についての実験研究」 (お茶大)
- ⑧ 「紫外線によるウォーターサーバー水中の細菌増殖抑制方法」 (お茶大)
- ⑨ 「光が藻類の挙動に及ぼす影響と浄水処理への適用」 (お茶大)